

令和3年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	1802	領域略称名	パレオアジア
研究領域名	パレオアジア文化史学—アジア新人文化形成プロセスの総合的研究		
領域代表者名 (所属等)	西秋 良宏 東京大学・総合研究博物館・教授		

(評価結果)

A+ (研究領域の設定目的に照らして、期待以上の成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域の目的である、アジアにおける旧石器時代の新人拡散とその文化形成プロセスの解明に向け、考古学や先史人類学の実証的研究と文化人類学の理論との融合、及び文化現象の数理的解析を行うことで、人類史理解の深化に寄与する顕著な研究成果が上がっている。研究成果の中でも、アジア特有の進化パラドクス、すなわち新人の拡散速度と文化変動の遅延を「二重波モデル」で解明したことや、新人文化波及の地域性・多様性を実証したことは、従来のヨーロッパ・生物学偏重の人類史理解を刷新する貴重な成果である。また新人・旧人遺跡（約 20～2 万年前）の包括的データベース「PaleoAsia DB」を構築したことの意義も大きい。

以上の卓越した研究成果は本研究領域のウェブサイトや書籍、論文や国際会議などを通じて広く発信され、国際的にも高い評価を得ており、人文・社会系学術研究における日本の国際的プレゼンスを高めることにも寄与している。次世代にも有望な研究者が育っており、今後の更なる研究発展が期待される。